

Canon

Autoboy
Zoom 105



J

日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

オートボーイズーム 105 は、高い倍率（3 倍）の電動ズームレンズを備えたコンパクトなボディの全自動カメラです。AI* オートフォーカス機構が被写体（撮りたいもの）を自動的に判別してピントを合わせるので、気軽に撮影することができます。キヤノンからの新しい提案によるこの全自動カメラで、気軽に写真をお楽しみください。

●オートボーイズーム 105 の特長

1. 高画質大口径の電動 3 倍ズームレンズ(35 mm -105 mm F 3.5-8)
2. 遠距離までピントが合う高精度アクティブ AI* オートフォーカス
3. オートズームストロボと 4 種類の撮影モード
4. 離れたところから撮影できる着脱式リモコン
5. メッセージ/デート写し込み機能

*AI (Artificial Intelligence : 人工知能)

●使用説明書の構成

この使用説明書は、大見出しを付けて機能や操作の説明を使用目的別に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は始めから順にお読みください。

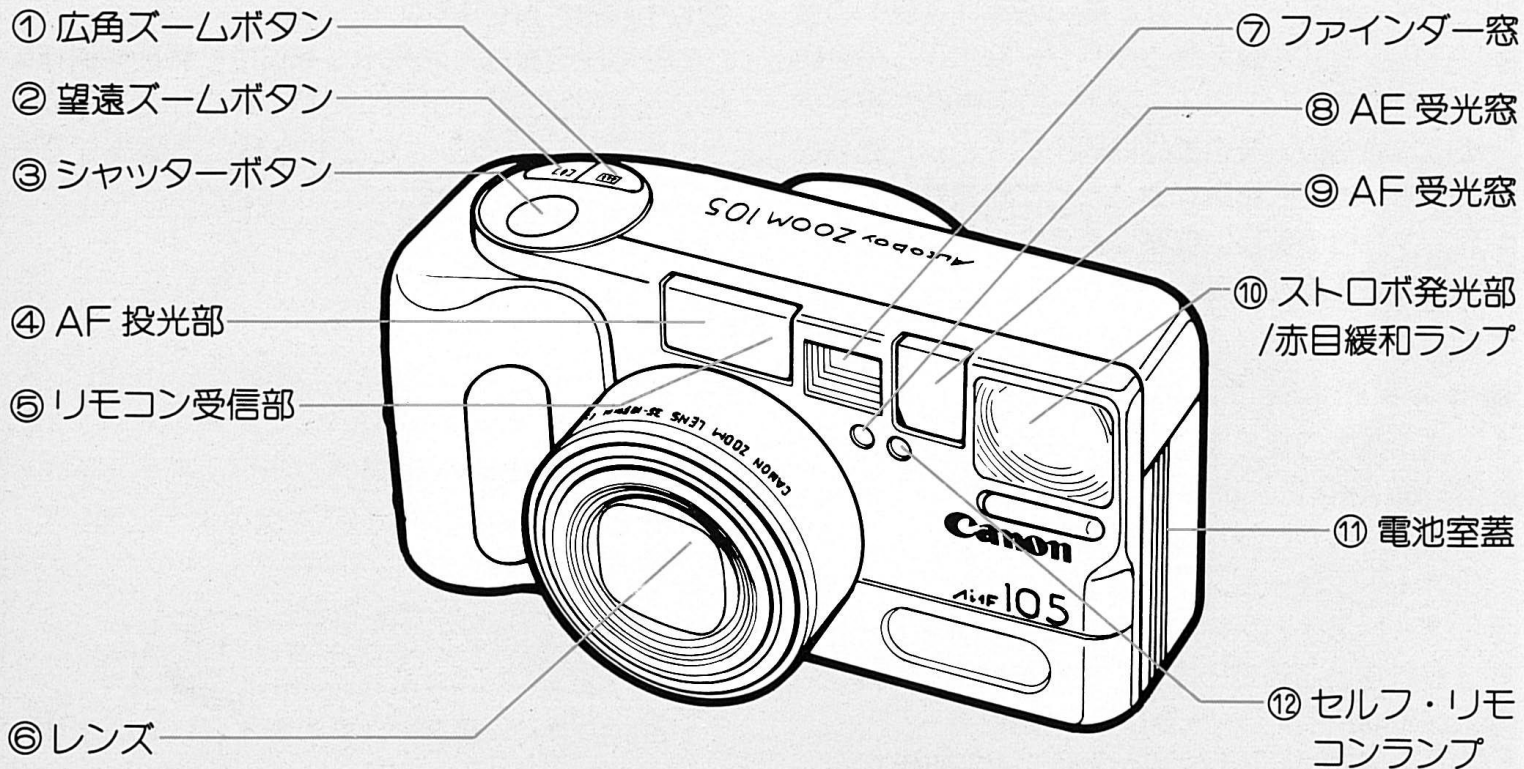
●使用説明書の利用方法

表紙と裏表紙の各部の名称を図のように開いてご覧ください。



・本文中の (→■頁) は参照頁を示しています。

各部の名称



もくじ

カメラの準備をします

- 1. ストラップを取り付けます5
- 2. 電池をチェックします6
- 3. 表示パネルについて7
 - ・表示パネルに“E”が出たら7

カメラ操作の練習をします

- 1. カメラの正しい構え方8
- 2. シャッターボタンを押してみます9
- 3. 被写体を大きく～小さくします10
- 4. フィルムを入れます12

全自動撮影で簡単な撮影をします

- 1. メインスイッチを入れます14
- 2. 撮影します14
 - ・表示ランプについて16
 - ・赤眼緩和撮影17
 - ・一点測距撮影17
- 3. フィルムを取り出します19

カメラの機能を使いこなすために

- 4 1. 撮影モードの変更20

- 1)ストロボ OFF 撮影21
- 2)ストロボ ON 撮影22
- 3)スローシンクロ撮影23
- 2. リモコンの使い方24
- 3. 連続写真とセルフタイマー撮影26
 - 1)連続撮影26
 - 2)セルフタイマー撮影27

日付やメッセージを入れて撮る

- 1. 写し込み表示の選択29
- 2. 日付/時刻の修正30
- 3. メッセージを写し込む31

いつもカメラを正常に保つために

- 1. 電池の交換32
- 2. カメラを修理に出す前に33
- 3. 取り扱い上のご注意34

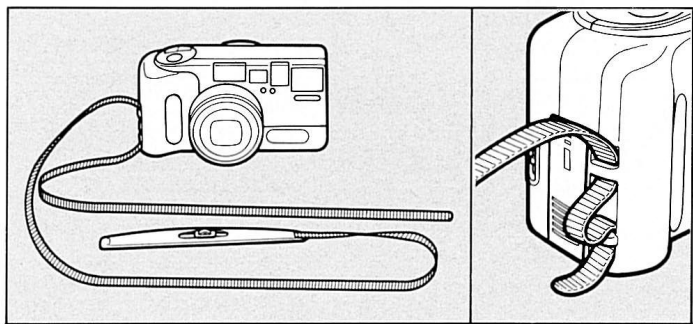
- Q & A35

- 主要性能一覧37

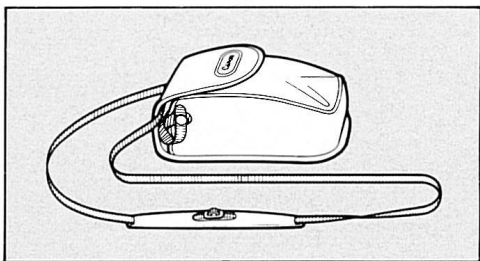
- アフターサービスについて39

カメラの準備をします

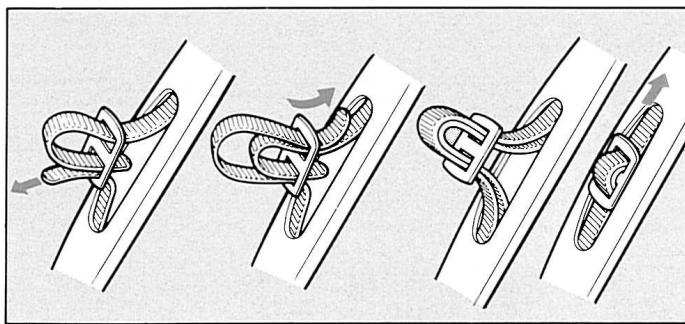
1. ストラップを取り付けます



- 1** ストラップを図のようにカメラのストラップ取り付け部に通して取り付けます。

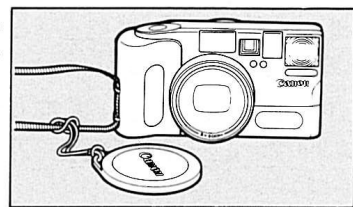


カメラを使用しないときは、図のようにケースに収納します。



- 2** ストラップの先端を図のように肩当て部の穴に通して固定します。

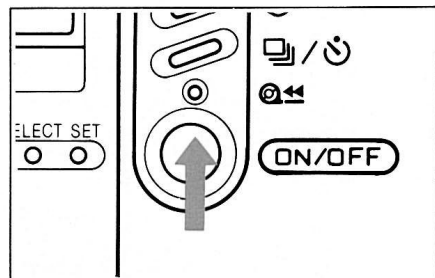
- ・レンズキャップのひもをストラップに取り付けてください。



2. 電池をチェックします

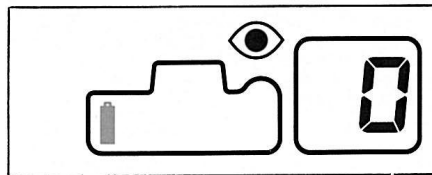
カメラには専用のリチウム電池が入っています。次の手順で電池をチェックしてください。

1 レンズキャップを外します。



2 メインスイッチを押してカメラに電源を入れます。

・電源が入るとレンズが自動的に繰り出します。



3 表示パネルに図のように電池チェックマークが点灯していれば電池は OK です。

電池チェックマークが点滅したときは新品の電池をご用意ください。また、電池チェックマークが点灯しないときは、電池を交換してください(→ 32 頁)。

【撮影可能本数】

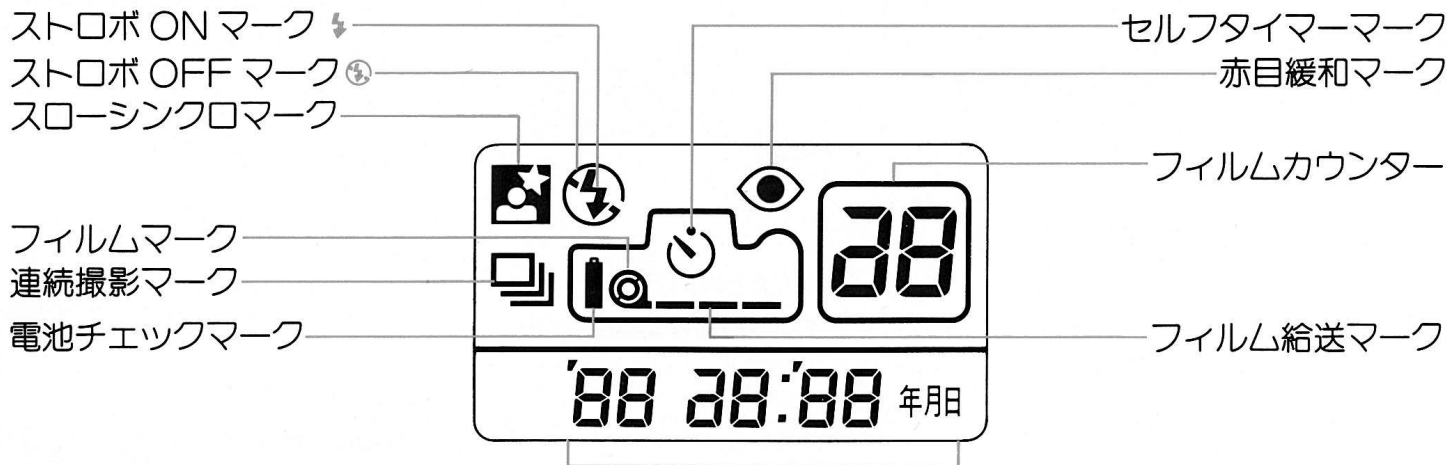
24 枚撮りフィルム約 25 本
(ストロボ 50% 使用時/当社試験条件による)

- ① 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- ② ご旅行にお出かけのときや、写真をたくさん撮られるときは、万一のときに備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によって電池の入手が困難なことがあります。
- ③ カメラを使用しないときは必ずメインスイッチを押してレンズを収納し、レンズキャップを付けてレンズをゴミやホコリなどから守ってください。

3. 表示パネルについて

表示パネルを見ると、今カメラがどんな状態にあるかが一目でわかります。いろいろな機能を

使いこなすために、絵文字や記号の意味を覚えてください。



[表示パネルに "E" が出たら]

フィルムカウンターに "E" が出たときは、メインスイッチを押してください。

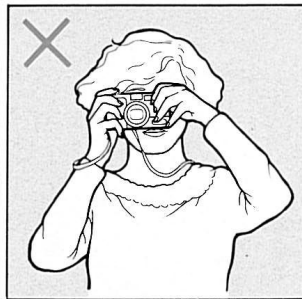
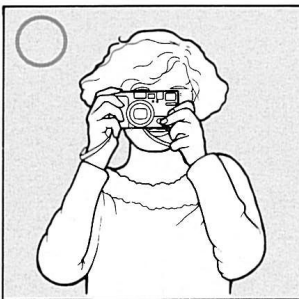
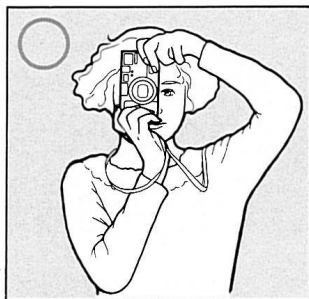
"E" 表示が消えます。



・この図は情報の全てを表示したものですが、通常は必要な情報だけが表示されます。

カメラ操作の練習をします

1. カメラの正しい構え方



撮影のときにカメラが動くことを「手ぶれ」といいます。手ぶれ写真はピンボケの写真とは異なり、写真全体がボケており、シャープに写ってい

るところがありません。シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。

❶ カメラを構えるときは、レンズ、AF 投光部、AF 受光窓、AE 受光窓、ストロボ発光部などに髪や指がかからないよう注意してください。

❷ レンズの鏡筒部分を持ってカメラを構えないでください。

1 ストラップを首にかけて両手でカメラを持ちます。

2 ひじを体に軽くつけます。

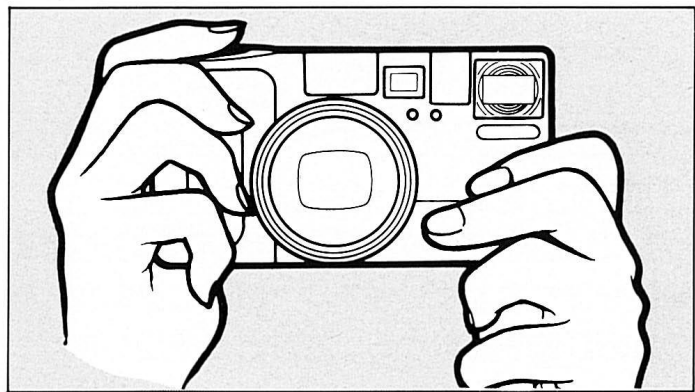
3 カメラを額に付けるようにして、ファインダーを覗きます。

4 両足を揃えずに、片足を軽く踏み出して体を安定させます。

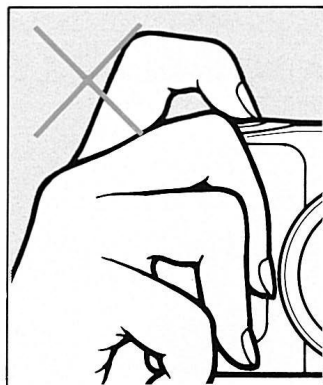
・ ISO 200 や ISO 400 などの高感度フィルムを使用すると、手ぶれしにくくなります。

2. シャッターボタンを押してみます

シャッターボタンは二段階になっています。軽く一段目まで押すとピントが合い、さらに二段目まで押すとシャッターが切れて、フィルムを巻き上げ次の撮影に備えます。シャッターボタンの押し方はブレのないはっきりした写真を撮るための重要なポイントです。



1 指の腹をシャッターボタンに軽くのせます。

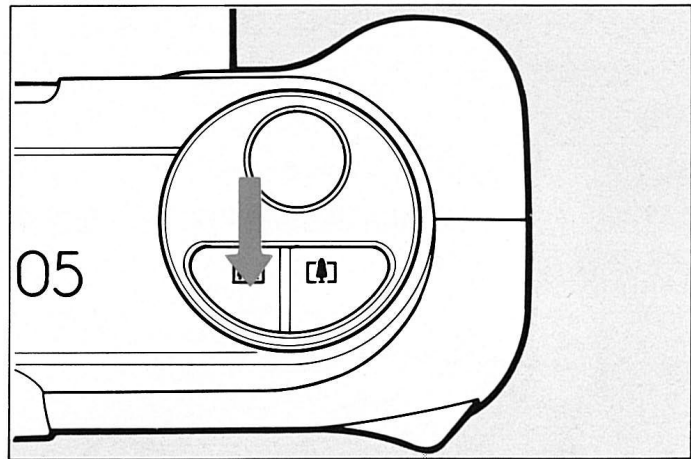



2 シャッターボタンを軽く押し、その位置からカメラをにぎるような感じでゆっくりシャッターボタンを押します。

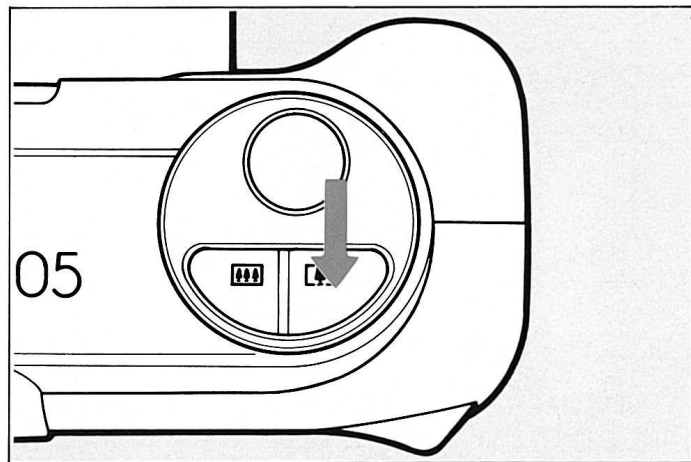
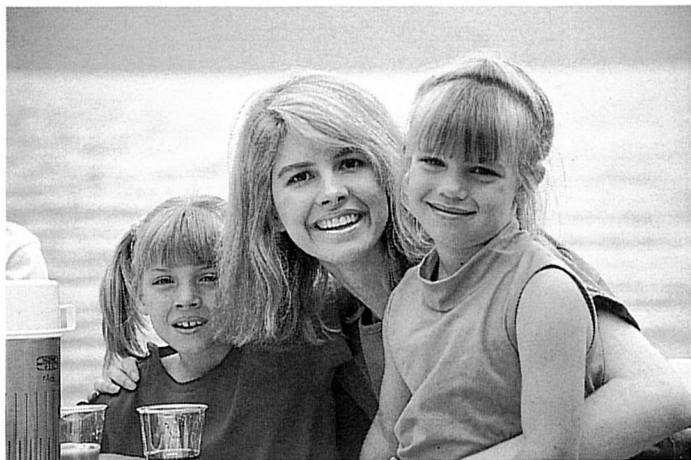
! 指をシャッターボタンから離れた状態から一気に押ししたり、あるいは指を立てて押すことは手ぶれの原因になります。シャッターボタンは正しく押してください。

3. 被写体を大きく～小さくします

広角あるいは望遠ズームボタンを操作して、ファインダー内の被写体の大きさを自由に変えることができます。



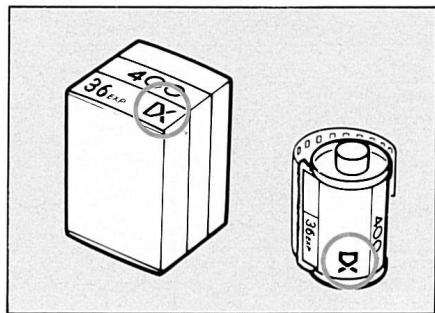
【 (広角ズームボタン) を押す】
レンズは広角になります。広角側ではより広い範囲を写すことができます。風景の撮影や人物の集合写真を撮影するときなどに使用します。



【 (望遠ズームボタン) を押す】

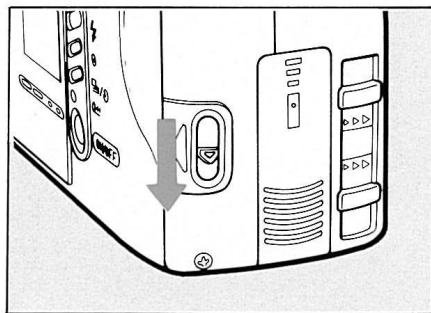
レンズは望遠になります。望遠側では被写体をより大きく写すことができます。人物のポートレート撮影などに使用します。

4. フィルムを入れます

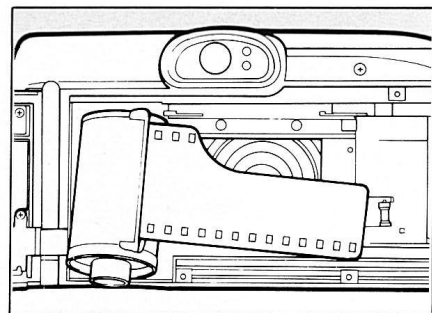


DX マークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。

使用できるフィルム感度は ISO 25~ISO 3200 です。手ぶれを防ぐためにも ISO 200 や ISO 400 などの高感度フィルムの使用をおすすめ

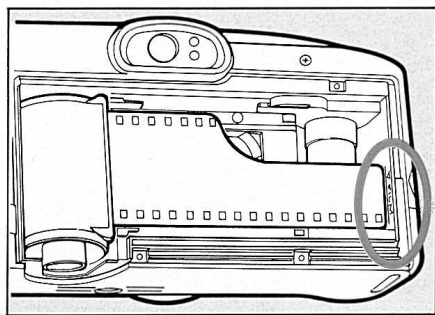


1 背蓋開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背蓋を開きます。



2 フィルムを図のような向きで、フィルム室に入れます。

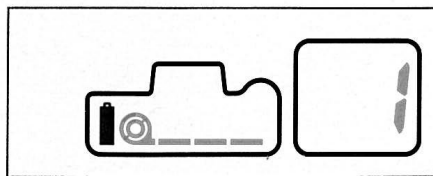
! カメラを置いてフィルムを入れるときは、カメラを安定させるためにメインスイッチを押して電源を切りレンズを収納してください。



3 フィルムの先端を、フィルム先端位置マークまで引き出します。

4 フィilmガイドの間にフィルムが正しく位置していることを確認して背蓋を閉じます。

背蓋を閉じると自動的にフィルムが送られて1枚目にセットされます。

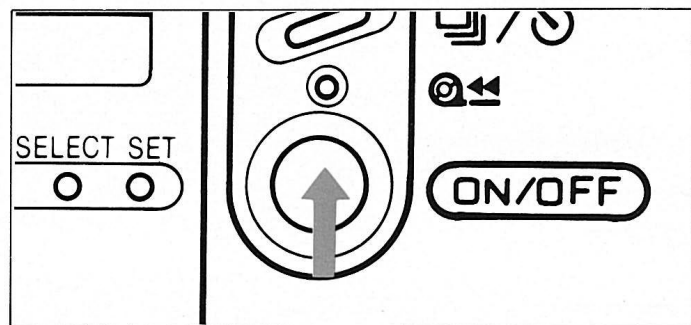


・フィルムが正しくセットされると、表示パネルにフィルムマークおよびフィルムカウンターの“1”が表示されます。

- ・フィルム給送マークおよびフィルムカウンターに“0”が点滅したときはフィルムが正しくセットされていません。背蓋を開けてフィルムを正しく入れ直してください。
- ・フィルムが正しくセットされていない場合、シャッターは切れません。
- ・DXマークのついていないフィルム、またはフィルム感度ISO 25のフィルムは自動的にセットされません。フィルムをフィルム室に入れ背蓋を閉じてから、フィルムカウンターに“1”が表示されるまでシャッターボタンを押してください。

全自動撮影で簡単な撮影をします

1. メインスイッチを入れます



メインスイッチを押して電源を入れると、カメラは自動的に全自動撮影にセットされます。全自動撮影は被写体が暗かったり逆光だったりすると自動的にストロボが発光します。

- ・レンズキャップをつけたまま電源を入れると、カメラは動かなくなります。レンズキャップを外してからもう一度メインスイッチを押してください。

2. 撮影します

(ファインダー視野図)

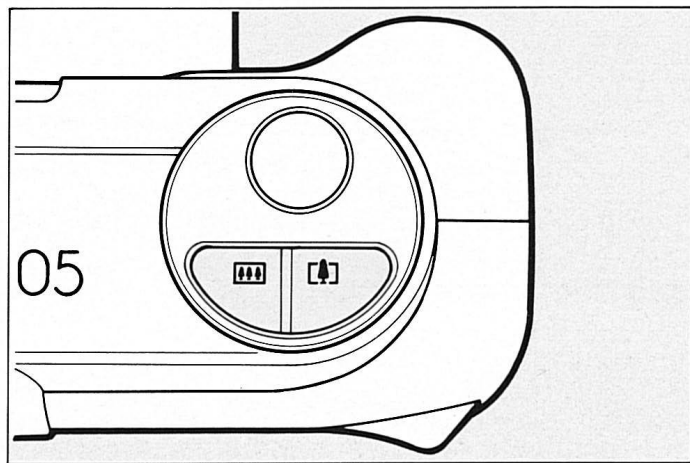
撮影範囲枠



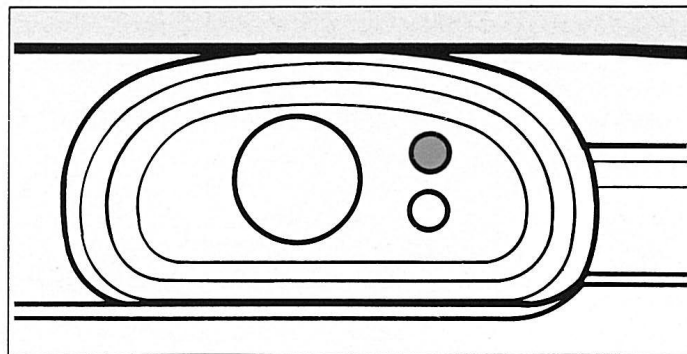
フォーカスフレーム

近距離撮影範囲枠

近距離撮影時のフォーカスフレーム



- 1** 構図を決めます。
被写体にカメラを向け、ファインダーをのぞきながらズームボタンを操作して被写体の大きさを決めます。



- 2** フォーカスフレームを目安にして、軽くシャッターボタンを押します。ピントが合うと、緑ランプが点灯します。

- ・緑ランプが点滅(4回/秒)した場合は、被写体までの距離が近すぎてピントが合いません。0.63 m (広角 35 mm 撮影時：1.6 m)以上離れてください。
- ・フォーカスフレームからいづらか被写体はずれた場合でも AI オートフォーカスにより、自動的にピントが合います。

3そのままシャッターボタンから指をはなさず、静かに押してシャッターを切ります。

- ・暗いところや逆光のときはストロボが自動的に発光します。

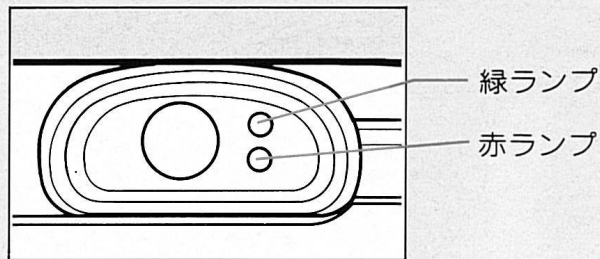
❗ガラス越しに撮影するときは、レンズ先端がガラスにぶつからない程度に近づけるようにします。

【ストロボの連動距離範囲】

フィルム感度	35 mm	70 mm	105 mm
ISO 100	1.6~5.4 m	0.63~3.5 m	0.63~3.1 m
ISO 200	1.6~7.6 m	0.63~5.0 m	0.63~4.4 m
ISO 400	1.6~10.8 m	0.63~7.1 m	0.63~6.3 m

(カラープリント用フィルム使用時)

表示ランプについて



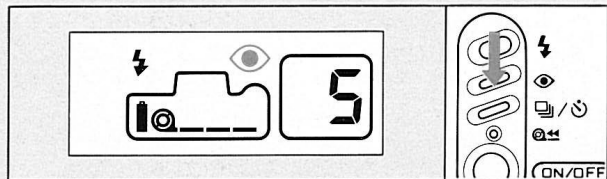
【緑ランプ】

- ・点灯：ピント合わせ完了（撮影 OK）
- ・遅い点滅（4回/秒）：近距離警告 0.63 m（広角 35 mm 撮影時：1.6 m）より近づくと点滅
- ・速い点滅（16回/秒）：一点測距（撮影 OK）

【赤ランプ】

- ・点灯：ストロボ充電完了
- ・遅い点滅（4回/秒）：手ぶれ警告（ストロボ OFF モード時）
- ・速い点滅（16回/秒）：赤目緩和ランプ点灯

赤目緩和撮影



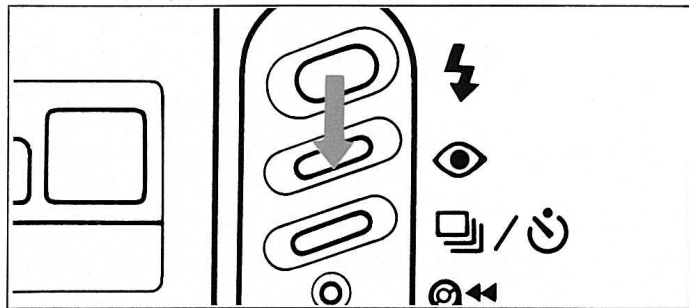
人物をストロボ撮影すると被写体の目が赤く写ってしまうことがあります。これを赤目現象と言います。

このカメラは表示パネルに赤目緩和マークが表示されているときは、赤目が出やすい状況になると、シャッターが切れる前に赤目緩和ランプが被写体を照明して赤目現象を緩和します。

- ・赤目緩和/一点測距切り換えボタンを押すと、表示パネルの赤目緩和マークが消えて赤目緩和撮影は解除されます。もう一度押すと赤目緩和撮影がセットされます。
- ・電池を交換すると赤目緩和が自動的にセットされます。

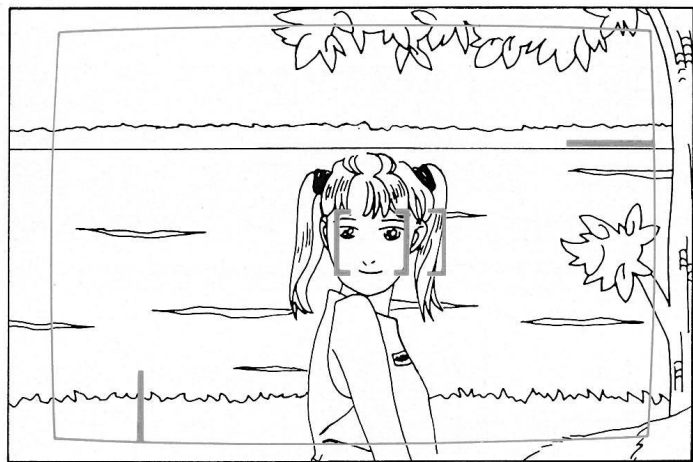
[一点測距撮影]

特に小さなものや被写体を極端にファインダーの端に配して撮影するとき、あるいはカメラを縦に構えて撮影するときなどには、ピントを合わせる位置をフォーカスフレームの中央部分に限定して撮影する一点測距撮影ができます。



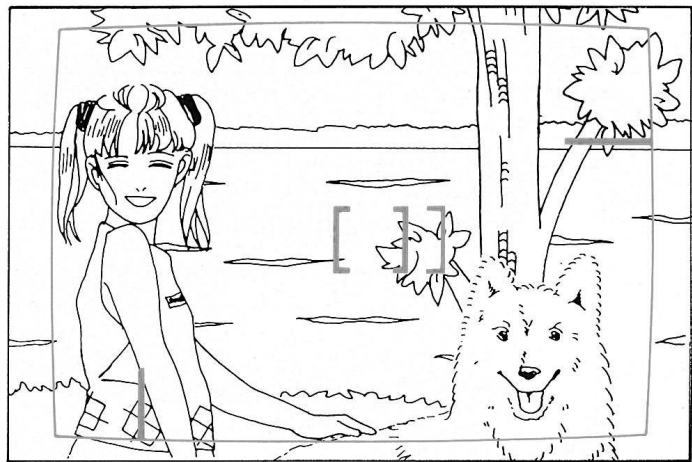
- 1 赤目緩和/一点測距切り換えボタンを約2秒間押します。

- ・緑ランプが速い点滅(16回/秒)をして一点測距撮影に切り換わります。



2 ピントを合わせる被写体にフォーカスフレームを合わせ、軽くシャッターボタンを押します。

- 緑ランプが点滅 (16 回/秒) して、一点測距によるピント合わせが完了します。



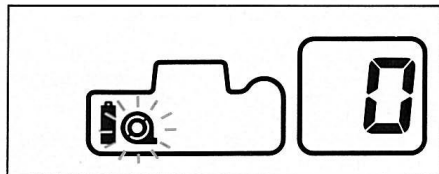
3 シャッターボタンを軽く押したまま、構図を決めてシャッターを切り撮影します。

- 1 回撮影すると一点測距撮影は自動的に解除されます。また、メインスイッチを押して OFF にすると解除されます。
- 連続撮影 (📷) のときは、シャッターボタンを押している間一点測距撮影が続きます (→ 26 頁)。

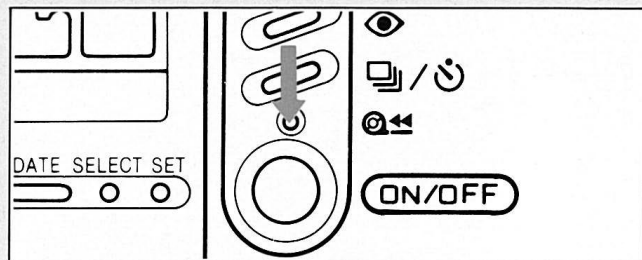
3. フィルムを取り出します

セットしたフィルムを使い終わると自動的にフィルムを巻き戻します。巻き戻し中はフィルム給送マークが点滅し、フィルムカウンターの数値が減っていきます。

巻き戻しは終了と同時に自動的に止まり、フィルムマークが点滅します。



フィルムの途中巻き戻し



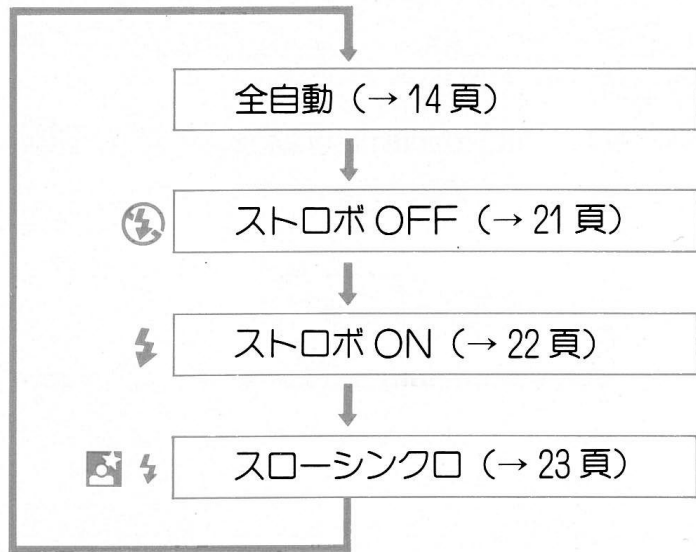
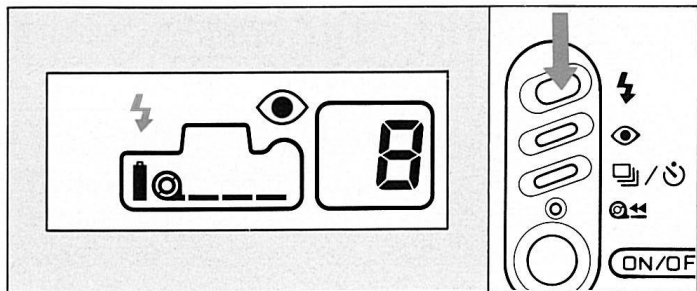
フィルムを最後まで撮り終える前に現像に出すときは、ストラップ肩当てゴム部の突起を利用してフィルム途中巻き戻しボタンを押します。

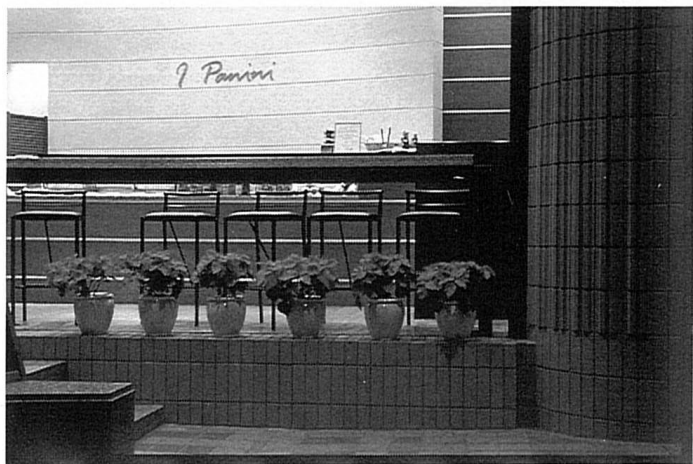
❗ 規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。

カメラの機能を使いこなすために

1. 撮影モードの変更

撮影モード切り換えボタンを押すと、次の順で撮影方法が切り換わり、表示パネルで確認することができます。



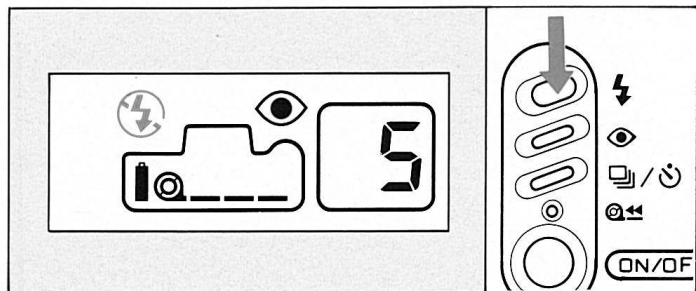


1) ストロボ OFF 撮影

撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルに⚡(ストロボ OFF マーク)を表示するとストロボが発光しなくなります。

ストロボ撮影が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用した撮影、夜景などの撮影に使用します。

- ・ 暗い場所でのストロボ OFF による撮影は、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれ警告の赤ランプが点滅したときは、カメラをしっかりした台の上に置くか三脚をご利用ください。



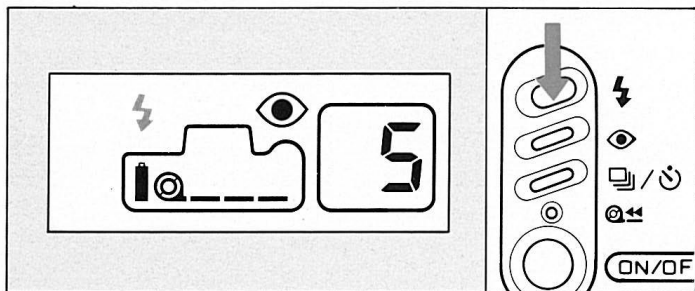


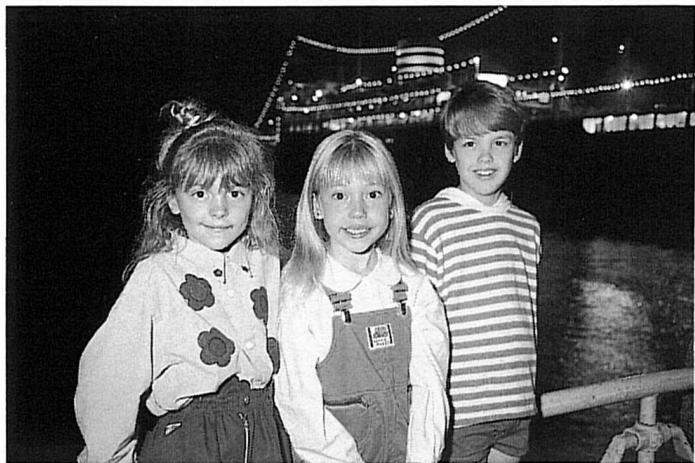
2) ストロボ ON 撮影

撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルに⚡(ストロボ ON マーク)を表示すると、撮影場所の明るさに関係なくストロボが発光します。


強い光の下では被写体が部分的に影に入ってしまったたり、被写体に強い影がでたりすることがありますが、このような被写体の影をやわらげるときに使用します。

- ・ストロボの連動距離範囲は全自動撮影の場合と同じです (→ 16 頁)。



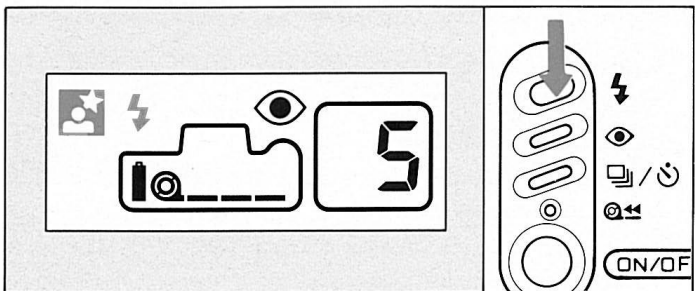


3) スローシンクロ撮影

撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルに (スローシンクロマーク)を表示すると、ストロボ発光と遅いシャッタースピードがセットされます。

夕暮れや夜景などを背景にして人物撮影をするときに使用します。人物にはストロボ光があたり、背景も遅いシャッタースピードできれいに撮影することができます。

- ・手ぶれ写真を防ぐために、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。
- ・ストロボの連動距離範囲は全自動撮影の場合と同じです (→ 16 頁)。



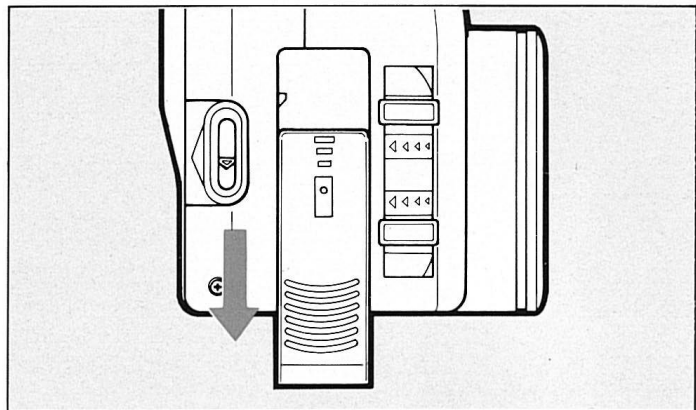
2. リモコンの使い方

このカメラにはリモコンが組み込まれています。リモコンを利用して、カメラから離れた所から任意に撮影することができます。また、カメラまで戻らなくても同じ構図で続けて撮影することができます。

- ・リモコン撮影の際は、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。

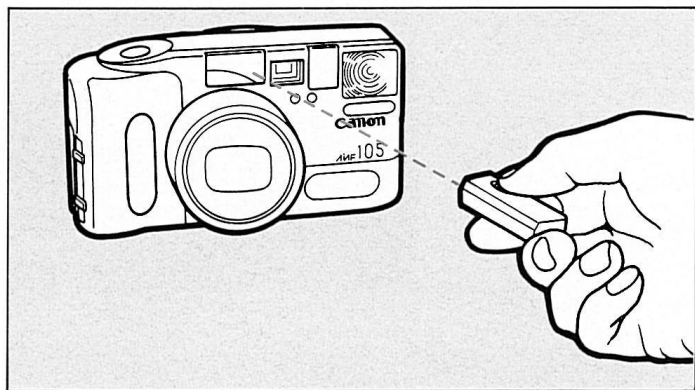
1 カメラをセットし、構図をきめます。

- ❗ リモコン受信部が極端な逆光下にあったり、被写体までの距離が遠すぎたりすると、リモコン撮影ができないことがあります。そのようなときには、セルフタイマーを使用してください (→ 27 頁)。



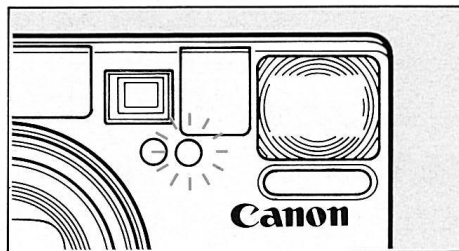
2 リモコン送信機を矢印の方向にスライドさせて、カメラから取り外します。

- ・カメラからリモコン送信機を外すと、セルフ・リモコンランプがゆっくり点滅し、リモコン撮影できることを知らせます。
- ・リモコン送信機を外したまま 8 分間以上経過すると、リモコン撮影できなくなります。リモコン送信機をカメラにセットし、再度取り外すとリモコン撮影できるようになります。



3 リモコンを持って予定の場所に立ち、カメラにリモコン送信機の送信部を向け、送信ボタンを押します。送信ボタンを押すとカメラが自動的にピントを合わせます。

❗ リモコン撮影が可能な距離はカメラの正面で約 5 m、斜めの範囲(左右 25°/上下 18°)では約 3.5 m 以内です。



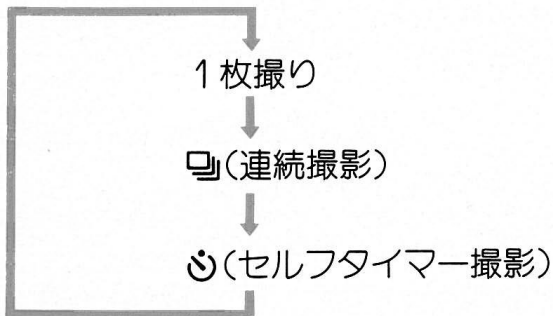
- セルフ・リモコンランプの点滅が速くなり、約 2 秒後にシャッターが切れてフィルムが巻き上がります。
- リモコン送信機を外してから、シャッターボタンを軽く押すと緑ランプが点灯してピントを固定することができます。

❗ リモコン撮影時に、カメラの近くにインバーター式蛍光灯があると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤動作することがあります。このようなときはカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。

3. 連続写真とセルフタイマー撮影

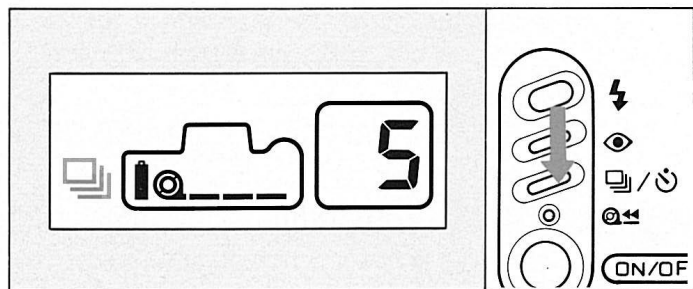
メインスイッチを押してカメラに電源を入れると、自動的に1枚撮りにセットされますが、フィルム巻き上げモード切り換え(セルフタイマー)ボタンで連続撮影,セルフタイマー撮影に切り換えることができます。


フィルム巻き上げモード切り換え(セルフタイマー)ボタンを押すと表示パネルには次の順でマークが表示されます。



1) 連続撮影



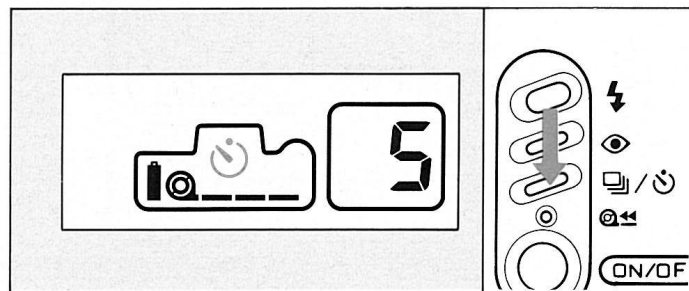



フィルム巻き上げモード切り換え（セルフタイマー）ボタンを押して、表示パネルに （連続撮影マーク）を表示します。

シャッターボタンを押している間、連続して撮影することができます。

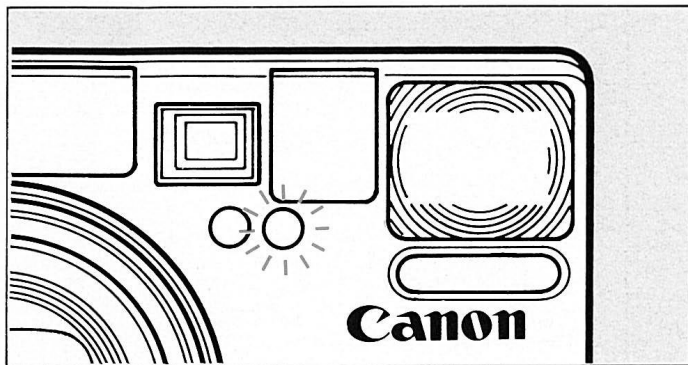
2) セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使用すると撮影者自身も写真に入ることができます。セルフタイマー撮影のときは、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。



- 1 表示パネルに （セルフタイマーマーク）が表示されるまでフィルム巻き上げモード切り換え（セルフタイマー）ボタンを押します。

- 2** カメラを人物に向けて構図を決め、シャッターボタンを押してピントを合わせます。ピントが合うと緑ランプが点灯します。



- ・セルフ・リモコンランプが点滅を始め（2回/秒）、約10秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる2秒前になるとセルフ・リモコンランプの点滅がさらに速く（8回/秒）なります。
- ・フィルムカウンターの表示がタイマー表示に変わり、シャッターが切れるまで1秒ずつカウントダウンします。

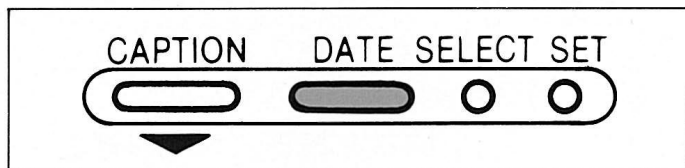
- ・カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。
- ・セルフタイマー作動中に解除するときは、メインスイッチを押してください。

- 3** セルフタイマー撮影後、フィルム巻き上げモード切り換え(セルフタイマー)ボタンを押してセルフタイマーを解除します。

日付やメッセージを入れて撮る

1. 写し込み表示の選択

デート表示切り換えボタン(DATE)を押して、写真に写し込む日付/時刻の表示を選びます。デート表示切り換えボタンを押すたびに表示/パネルは次のように変わります

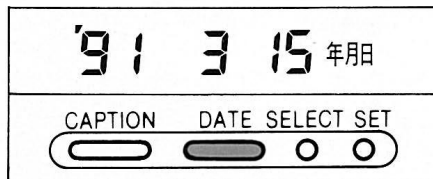


・写し込まれる日付/時刻はパネルの表示と異なり、作例写真のように写し込まれます。

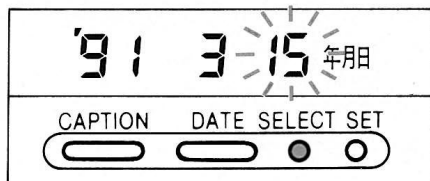
2. 日付/時刻の修正

2029年までのオートカレンダーが組み込まれています。撮影のたびに日付をセットする必要はありませんが、海外旅行などで日付/時刻を修正するときや電池を交換したときは次のようにします。

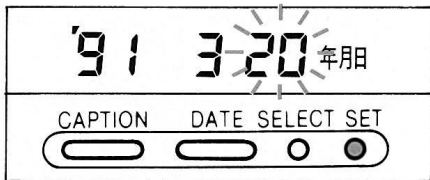
- ・日付/時刻はあらかじめ日本時間にセットされています。



- 1 デート表示切り換えボタン(DATE)を押して、表示パネルに修正する日付(時刻)を表示します。



- 2 修正位置選択ボタン(SELECT)を押して修正する数字を点滅させます。



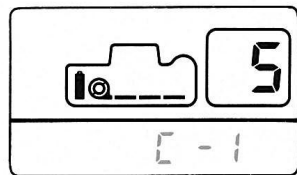
- 3 数値セットボタン(SET)を押して正しい数字をセットします。

- ・数値セットボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。押すときはストラップ肩当ての突起を利用してください。

- 4 すべての数字が点灯するまで、修正位置選択ボタン(SELECT)を押します。すべての数字が点灯すれば、セットは完了です。

3.メッセージを写し込む

メッセージ表示切り換えボタンを押して写し込むメッセージを選びます。メッセージ表示切り換えボタンを押すたびに表示パネルは次のように変わります。



- [- 1表示 ♡ I ♥ YOU ♡
- [- 2表示 THANK YOU!
- [- 3表示 HAPPY BIRTHDAY
- [- 4表示 CONGRATULATIONS
- [- 5表示 HAPPY NEW YEAR!

- 日付/時刻の写し込みがセットされていても、メッセージの写し込みをセットすると、一時的にメッセージの写し込みに切り換わります。
- 背蓋には表示パネルに対応するメッセージが表記されています。
- メッセージの写し込みは1枚撮影することに日付/時刻の写し込みに切り換わります。
- 日付/時刻とメッセージを同時に写し込むことはできません。
- 連続撮影の場合は、選んだメッセージが続けて写し込まれます。

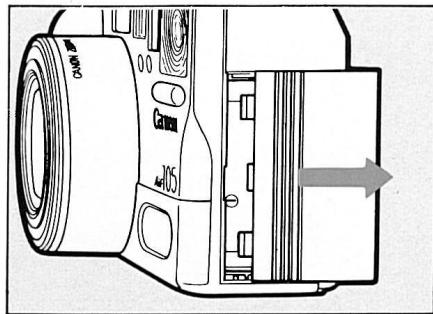


メッセージは写真のように写し込まれます。 31

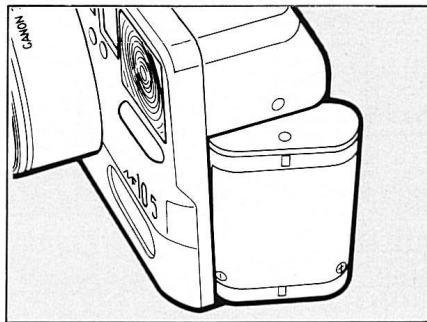
いつもカメラを正常に保つために

1. 電池の交換

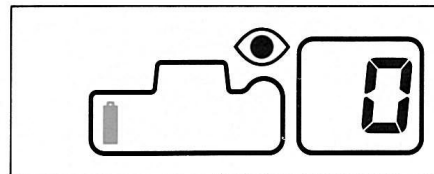
表示パネルの電池チェックマークがつかないときは、次の手順で電池を交換してください。



1 電池室蓋を矢印の方向にスライドさせて外します。



2 電池を取り出し新品のリチウム電池を図のような向きで入れます。



3 表示パネルに電池チェックマークが表示されているのを確認した後、電池室蓋を閉じます。

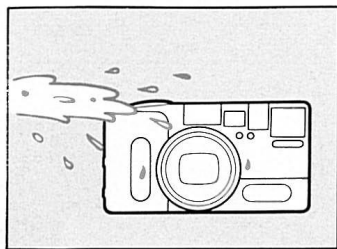
- 電池を交換すると表示パネルの日付が「'90.1.1」に変わります。日付と時刻を修正してください。

2. カメラを修理に出す前に

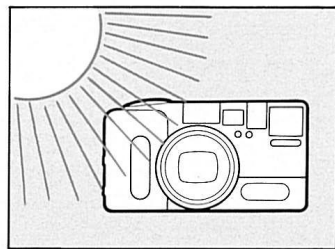
次の表を参考にしてチェックしても、症状に変化がなければ修理にお出してください。

症状	原因	解決方法	参照頁
1. 表示/パネルに表示がない	①電池が消耗している ②電池が逆向きにはいつている	①電池を交換する ②電池を正しく入れ直す	32 32
2. シャッターが切れない	①メインスイッチがOFFになっている ②レンズキャップがついている ③電池が消耗している ④フィルムが正しくセットされていない (フィルム給送マークが点滅) ⑤巻き戻されたフィルムがカメラにはいつている(フィルムマークが点滅)	①メインスイッチをONにする ②レンズキャップを外してメインスイッチをONにする ③電池を交換する ④フィルムを正しく入れ直す ⑤フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする	14 14 32 12 19
3. リモコン撮影ができない	①撮影距離が遠すぎる ②リモコン送信機を外してから8分以上経過した ③逆光状態である ④カメラあるいはリモコン送信機の電池が消耗している	①近寄って撮るかセルフタイマーを使用する ②リモコン送信機を一度カメラにセットし、再度取り外す ③セルフタイマー撮影に切り変える ④電池を交換する	27 24 27 32/36
4. 写真がボケて写っている	①シャッターを切るときに、AF受光窓をおおっていた ②セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した ③シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)	①髪や指などでAF受光窓をおおわないように気をつける ②カメラの直前に立たないように気を付ける ③シャッターボタンを静かに押す	8 28 9
5. 表示/パネルにE、1E、2E、3Eが表示された	リセット必要時の“E”マーク表示	メインスイッチを押してリセットする(押しても表示が消えないときは修理にお出してください)	7

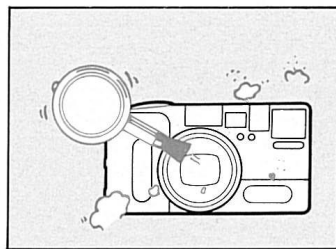
3. 取り扱い上のご注意



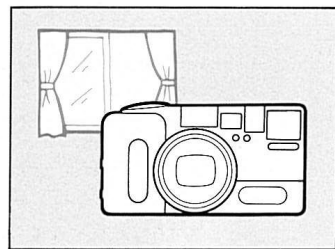
◆このカメラは防水構造になっていないので、雨天下や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。また水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。



◆直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因となることがありますのでこのような中にカメラを放置しないでください。
◆カメラには高電圧回路が内蔵されています。危険ですので絶対に自分で分解しないでください。



◆レンズやフィルム室内にゴミがついているときは、市販のプロアーブラシで吹き飛ばすだけにしてください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキヤノンサービスステーションにご相談ください。



◆カメラを長期間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。

Q & A

Q.1 リバーサルフィルムは使えますか？

A.1 はい、使うことができます。ただし、DX マーク付きのフィルム感度 ISO 25, 50, 100, 200, 400, 800, 1600, 3200 のものを使用してください。

Q.2 フィルム感度(ISO)とは何ですか？

A.2 フィルムが光に感じる度合いを数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影では ISO 200 や ISO 400 のフィルムをおすすめします。

Q.3 フィルム感度別に、ストロボ撮影できる距離を知りたいのですが？

A.3 次の表のようになります。

フィルム感度	35 mm	70 mm	105 mm
ISO 100	1.6~5.4 m	0.63~3.5 m	0.63~3.1 m
ISO 200	1.6~7.6 m	0.63~5.0 m	0.63~4.4 m
ISO 400	1.6~10.8 m	0.63~7.1 m	0.63~6.3 m
ISO 1000	1.6~15.2 m	0.63~10.0 m	0.63~8.9 m
ISO 1600	1.6~21.5 m	0.7~14.2 m	0.63~12.6 m
ISO 3200	1.6~30.4 m	1.0~20.0 m	0.9~17.8 m

(カラープリント用フィルム使用時)

Q.4 写真に写し込まれた日付やメッセージが読みにくいのですが？

A.4 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものがくるようにしてください。また、数字/文字はオレンジ色に写りますので、オレンジ色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

Q.5 表示パネルの文字が薄くなってきたのですが？

A.5 液晶の交換時期です(寿命：約5年)。最寄りのキャノンサービスステーションに液晶の交換をご用命ください(有料)。

Q.6 リモコン送信機の電池の寿命はどのくらいですか？

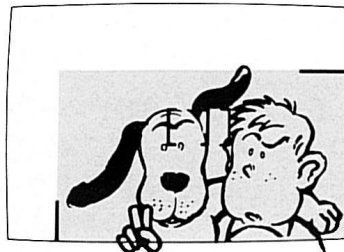
A.6 約 20,000 回送信することができます。電池の交換は最寄りのキャノンサービスステーションにご用命ください（有料）。

Q.7 近接撮影のとき、緑ランプが遅い点滅をしても、そのまま撮影すると写真はどうなりますか？

A.7 緑ランプの遅い点滅は近距離警告です。緑ランプが点滅しない距離まで離れて撮影してください。なお、広角 35 mm で撮影するときのみ、近距離警告が出てそのままシャッターボタンを押すと、レンズが少しズームインしてピントが合った写真が撮れることがあります。

Q.8 ファインダー内の近距離撮影範囲枠とは何ですか？

A.8 撮影距離が 0.63~1.0 m のときの撮影範囲を示す枠です。1 m 以下に近づいて撮影するときは、この範囲枠内で構図を決めて撮影してください。このとき、近距離フォーカスフレームでピントを合わせてください。



Q.9 撮影しているレンズの焦点距離を知りたいのですが？

A.9 レンズの本体（鏡筒）上に 35, 50, 70, 105 mm の表示があります。

主要性能一覧

型式：ズームレンズ内蔵 35 mm レンズシャッター式 AF 全自動カメラ

画面サイズ：24×36 mm

レンズ：キャノンレンズ 35-105 mm F 3.5-8

焦点調節：評価測距アクティブオートフォーカス（一点測距可能）

撮影距離：0.63 m～∞（広角 35 mm のみ 1.6 m～∞）

シャッター型式：絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター

ファインダー：実像式ズームファインダー

倍率：広角 0.35 倍 望遠 1.05 倍

ファインダー情報：ファインダー内；撮影範囲枠/近距離撮影範囲枠/フォーカスフレーム/近距離フォーカスフレーム
ファインダー接眼部；緑色 LED（撮影 OK/近距離警告/一点測距撮影 OK），赤色 LED（ストロボ撮影/手ぶれ警告/赤目緩和）

フィルム装填：自動（自動空送り付き）

フィルム巻き上げ：自動，1 枚撮影・連続撮影（1 コマ/秒）の切り換え可能

フィルム巻き戻し：自動，途中巻き戻し可能

フィルムカウンター：フィルムの進行に連動

フィルム空送り不良表示あり

セルフタイマー：電子制御式，シャッターボタンにより作動，約 10 秒後リリース，ボディ正面赤色 LED 点滅表示
フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン

フィルム在否確認：背蓋フィルム確認窓あり

リモートコントロール機能：赤外光を利用した専用リモコンシステム

送信ボタンにて作動，2 秒後リリース

作動距離範囲；約 5 m 以内

寿命；約 20,000 回送信可能

測光作動範囲：全自動モード/ストロボ ON モード；

広角；1/45 F 3.5～1/1000 F 22(EV 9.0～19.0)

望遠；1/125 F 8.0～1/500 F 32(EV 13.0～19.0)

ストロボ OFF/スローシンク

広角；1.5 秒 F 3.5～1/1000 F 22(EV 3.0～19.0)

望遠；2 秒 F 8～1/500 F 32(EV 5.0～19.0)

露出補正：ストロボ OFF モードで逆光のとき，+1.5 段の自動露出補正

フィルム感度：ISO 25～3200，DX コードにより 1 段ごとに自動セット

内蔵ストロボ：ガイドナンバー；12-16・m，

低輝度，逆光時自動発光式ストロボ

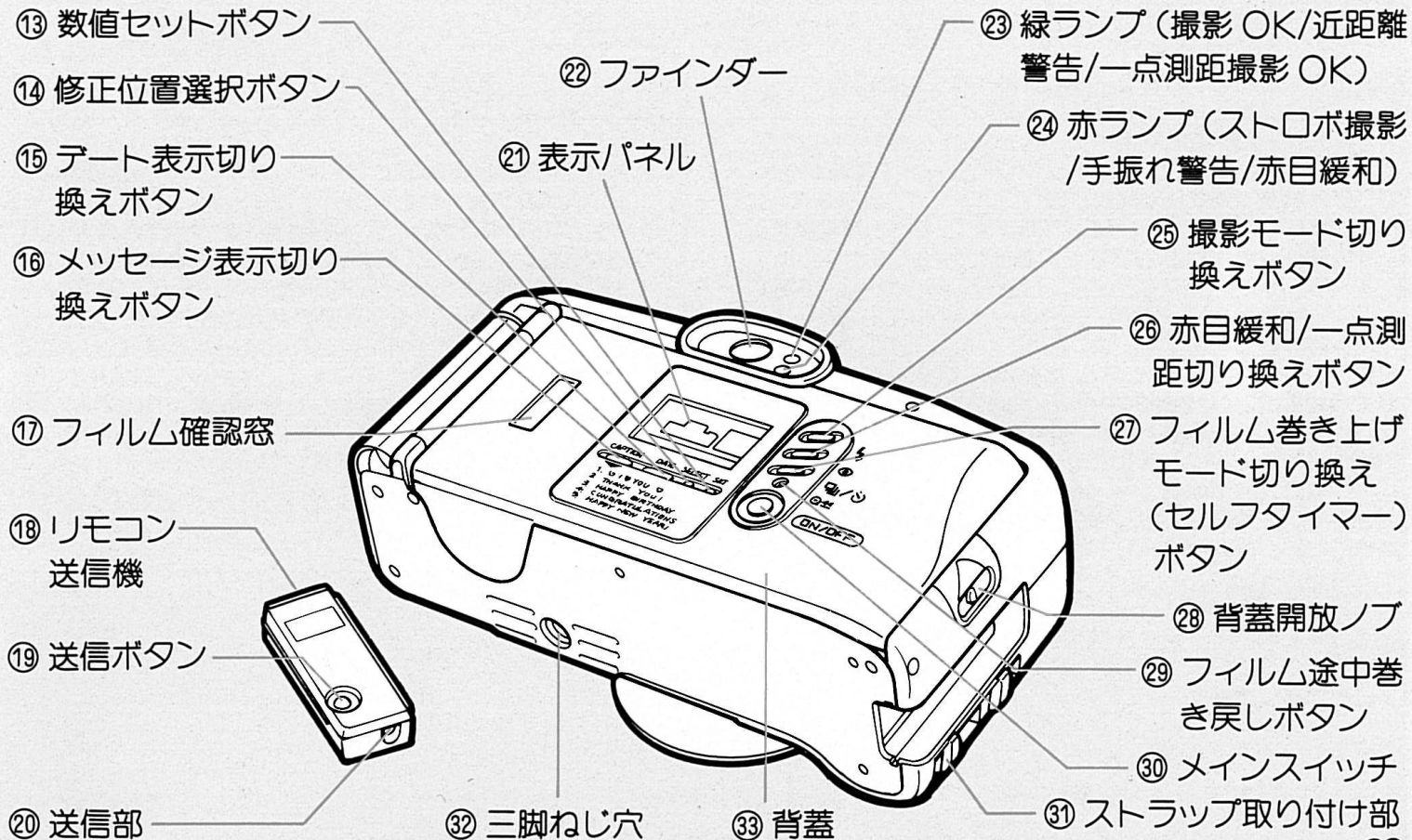
内蔵型ズームストロボ，赤目緩和ランプ内蔵

ストロボ連動範囲：広角；1.6～5.4 m

望遠；0.63～3.1 m

（カラープリント用フィルム ISO 100 使用時）

ストロボ充電時間：約 2.5 秒



ストロボ切り換え：撮影モード切り換えボタンによる

①全自動モード；低輝度、逆光時自動発光

②ストロボ OFF モード；発光禁止

③ストロボ ON、スローシンクロモード；常時発光

写し込み機能：方式；液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵

オートカレンダー(西暦 2029 年まで、うるう年自動修正)

時計機構；常温 20°C下で月差±120 秒以下

写し込みデータ；デート(4 通り)、メッセージ(5 通り)

文字形状；5 × 7 のドットマトリックスによる

写し込みの色；オレンジ色

電源：リチウム電池 2CR5, 1 個(写し込み機能と共用)

撮影可能本数：24 枚撮りフィルム 約 25 本

(ストロボ 50%使用時) 当社試験条件による

バッテリーチェック：電池チェックマークにより 3 段階表示

点灯 → 点滅 → 消灯

大きさ：139.4(幅)×73.2(高さ)×62.6(奥行)mm

重量：490 g (電池を含む)

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために不可欠な部品)は、日本国内において、7 年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

- ・ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- ・都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28

■カメラ相談室(製品取り扱い方法ご相談窓口)

東京・〒108 東京都港区三田 3-11-28 ☎(03) 455-9353

■サービスセンター(修理サービスご相談窓口)

札幌・〒060 札幌市北区北七条西1-2 (S E 山 京 ビ ル) ☎(011) 728-0665
仙台・〒980 仙台市青葉区一番町1-1-30 (やまと生命ビル 2階) ☎(022) 266-9851
新潟・〒950 新潟市紫竹山 1-10-26 ☎(025) 243-2111
銀座・〒104 東京都中央区銀座 5-9-9 ☎(03) 573-7834
新宿・〒163 東京都新宿区西新宿 2-6-1 (住友三角ビル地下1階) ☎(03) 348-4725
横浜・〒221 横浜市西区北幸 2-6-26 (H I 横浜ビル) ☎(045) 312-0211
大宮・〒330 大宮市大成町 2-273 ☎(0486) 66-3930
静岡・〒420 静岡市常磐町 2-13-1 (住友生命静岡常磐町ビル) ☎(0542) 55-2241
名古屋・〒450 名古屋市中村区名駅 3-21-7 (三交ビル 1階) ☎(052) 563-6822
金沢・〒921 金沢市玉鉾 2-266 ☎(0762) 91-1215
京都・〒604 京都市中京区烏丸通二条下秋野の町513 (京都第一生命泉屋ビル) ☎(075) 255-5953
梅田・〒530 大阪市北区中崎西 2-4-12 (梅田センタービル) ☎(06) 373-8181
中之島・〒530 大阪市北区中之島 3-2-18 (住友中之島ビル 1階) ☎(06) 444-0520
神戸・〒651 神戸市中央区雲井通り 4-2-2 (神戸いすゞリクルートビル 8階) ☎(078) 291-0535
広島・〒730 広島市中区大手町 3-7-5 (広島パークビル) ☎(082) 240-6712
高松・〒760 高松市紺屋町 9-6 (高松大同生命ビル 6階) ☎(0878) 23-4681
福岡・〒812 福岡市博多区美野島 1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル 3階) ☎(092) 411-4173
沖縄・〒902 沖縄市安里 102 (日本生命安里ビル) ☎(0988) 67-2104

■カメラ技術センター(修理サービスご相談窓口)

東京・〒140 東京都品川区東品川 1-2-5 (東信天王洲ビル 5階) ☎(03) 450-2731

大阪・〒540 大阪市中央区森ノ宮中央 2-5-3 (大阪研修センター 1階) ☎(06) 941-1076

■営業所

大分・〒870 大分市城崎町 1-3-31 (富士火災大分ビル) ☎(0975) 37-4117

■休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日、祝日)その他(土・日曜日、祝日)

PUB. C-IJ-161
1290S5

©CANON INC. 1990
CY8-6169-001

PRINTED IN JAPAN